

(家庭数配布)



運動会に向けてガンバってます！！（その2）

運動会が間近に迫り、全校で力を合わせて取り組んでいるところですが、先日、こんな嬉しい光景を見かけました。運動場で団体演技の練習をしている4年生が休み時間まで少し延長してやっていたのですが、その様子を教室の窓から見ていた6年生から拍手が起こったのです。練習していた4年生も、運動場から「ありがとう！」と返していました。大人でも子どもでもそうだと思いますが、自分の頑張りはやっぱり認めてもらいたいものです。その気持ちを拍手で伝えてくれた4年生は、とても嬉しかったと思います。また、拍手を送った6年生も素晴らしいですね。

今回の運動会は、数年振りに全校一斉での開催を予定しています。それこそ、全学年が協力をしなければ成功はありません。私はこの光景を見て、「絶対にできる！」と確信しました。当日、自分の学年の演技・競技に一生懸命に取り組むことはもちろんのこと、他の学年の頑張りに大きな拍手を送ってほしいですね。保護者の皆様も、どうぞよろしくお願い致します。



お得情報です！

「いつまで続くんだ〜！」と思われた厳しい暑さもどこかにいき、最近はめっきり涼しくなりました。先日の全校朝会では、私から、健康維持のためには運動が欠かせないということで「スポーツの秋」をテーマに話をしました。その中で「お得情報」として子どもたちに向けて話をしたことが、「二ノ切プールと豊島プールは、豊中市内の小学生は1時間まで無料になっている（今年の4月より）」です。健康維持のためには、いわゆる有酸素運動が良いと言われています。水泳は深い呼吸を伴いますので、特に効果的なようです。ご存じの通り、二ノ切プールも豊島プールも温水ですので、寒い冬でも快適に泳げます。また、暑さが厳しく、屋外での運動が心配な夏でも、水に浸かってい



るわけですから熱中症の危険性も低くなります。（絶対とは言えませんが。）実は私も、数年前からは早朝のジョギングに加えて、休みの日にはできるだけプールにも行くようにしています。保護者の皆様も、「少し運動をしなければ。」と思われている方にはぜひおすすめします。親子で健康作りをしてみてください。

以上、「お得情報」でした。

◇校長のつぶやきコーナー

子どもの成長に自己肯定感が大切なことは言うまでもありません。では、より強い自己肯定感を持たせるにはどうすればよいでしょう。

最近、私は1人の有名な教育家（ご自身であるスポーツの訓練をするスクールを運営されていて、テレビでも取り上げられること度々。著書も何冊かあります。）に興味を持ち始めました。そして幸運にも個人的にお会いさせていただく機会を持つことができました。その方とのお話の中で感じたことがあります。それは、「他人から褒められることが自己肯定感を高めることに繋がるのは当然として、**目の前の困難を自分自身の力で乗り越えた経験の方がより自己肯定感が高まる。**」ということです。

さらにスクールの見学をお願いしたところ、「ぜひお越しください。」と快く受け入れてくださいました。実際に見に行くと…、子どもたちが四苦八苦しながらも一生懸命に訓練に取り組んでいました。その様子を見た私が「難しいことやってますね。」とつぶやくと、「だからいいんです。」と。「難しいことにあえて挑戦させる。⇒なかなか上手くいかない。⇒自分で工夫しながらやり続ける。⇒何とかできるようになる。」こんな経験を経て子どもは自信をつけ、強い自己肯定感を持つようになる、ということです。私はその訓練を3時間近く見ていたのですが、指導者は途中で少し声をかけるくらいでほぼ手を出していませんでした。中には、おそらく3歳くらい？の子もいましたが、泣きながらも何度も挑戦する姿を見て、このような経験が子どもを逞しく成長させるのだ、と思いました。その3歳くらいの子は、訓練が終わった後、とても清々しい表情をしていました。

私たち大人は結果を待ちきれず、「何をやっているんだ。」と、ついつい子どもに口を出したくなります。しかし、そこをグッと我慢すること、それも時には必要だということを確信した見学になりました。

